

栃木市 移住・定住支援情報

# KaKeRu

Tochigi City

よくある!

栃木市移住の

Q & A

あつめてみました

栃木市移住定住支援コーディネーターが詳しく解説

豊かに暮らすための地方移住とは  
「移住先で輝く移住者たち」イベントレポート

## あなたの暮らしと 栃木市を「カケル」

移住者インタビュー① ヨガ×栃木市

ヨガで地域や人とのつながりを創る

移住者インタビュー② カフェ×栃木市

独立して夫婦で栃木市にカフェを開店

## KàKeRü とは

あなたの理想の暮らしを想像してみてください。  
ライフスタイルは多様にあり、人それぞれ。  
選択肢はたくさんあります。

もしかすると  
その理想は、あなたの暮らしと栃木市をカケル(掛け合わせる)こと  
で実現できるかもしれません。

栃木市へ移住する、という選択肢も考えてみませんか？

「栃木市で暮らしたら、どんなことができるだろう。」

KàKeRüは、  
たくさんの方に栃木市で暮らすイメージと栃木市で暮らす楽しさを  
伝えるため発行しました。

あなたのカケル想いを膨らませてみませんか？



栃木市 移住・定住支援情報

# KaKeRu

Tochigi City

移住者インタビュー① ヨガ×栃木市  
ヨガで地域や人とのつながりを創る  
中居 花菜さん



3

移住者インタビュー② カフェ×栃木市  
独立して夫婦で栃木市にカフェを開店  
木戸間さんご夫婦



5

栃木市移住定住支援コーディネーターコラム  
豊かに暮らすための地方移住とは

7

「移住先で輝く移住者たち」イベントレポート 9

栃木市移住のQ&Aあつめてみました 11

栃木市の移住体験施設 13



表紙

モデル/中居 花菜 撮影/牧野 隆英 場所/栃木市立文学館

撮影/shunsuke fujita 場所/幸来橋

## 移住者インタビュー①

ヨガ × 栃木市  
ヨガで地域や人との  
つながりを創る  
中居 花菜さん



2022年1月に東京から栃木市へ移住した中居さん。平日は東京のマーケティング支援企業の仕事をテレワークしながら、ヨガインストラクターとしての活動も開始。栃木市内はもちろん、宇都宮市や東京都、オンラインでもヨガレッスンを開催し、活動の幅を広げています。

今回は、トチギもくもく会の会場として利用している栃木市嘉右衛門町にあるシェアスペース「KAEMON BASE」にて、中居さんにインタビューを行いました。

### 「トチギもくもく会」とは

主に市内在住のテレワーカー・リモートワーカー向けのゆるいつながりを広げるコミュニティです。自身もテレワークをしている栃木市移住定住支援コーディネーターが企画し、もくもくと仕事をしながら市内のイベントやお店などの情報交換も行い、栃木市の魅力を知るキッカゲづくりを行っています。市内テレワーカー・リモートワーカーが集える場や便利な「まち」になってほしいと想いから「トチギもくもく会」を開催しています。

### 景観のよい街並みとおしゃれなお店

—栃木市への移住のキッカゲ、移住前に準備したことは?—

仕事がテレワーク中心となり、このまま東京に住んでいるよりも、地元の栃木県へ移住したいという気持ちが強くなり、移住に関する情報を各市町の移住相談窓口を活用して集めました。その中でも栃木市は街並みの景観が良く、CMやドラマの撮影でも多く使われていることや、おしゃれなお店やカフェも多いと聞いて、とても気になっていました。

移住前に何度か栃木市へ訪れてみたところ、蔵のある街並み、巴波川沿いには石畳が続いており、風景を見ながら散策したいと思える街でした。移住をサポートしていただいた移住定住支援コーディネーターの青山さんは、私と同じテレワーカーとして仕事をされていたので、地域の情報だけではなく、テレワーカーの実態や働き方なども相談することができました。

## ヨガを通じて地域とつながる

### —地域との関わりはありますか?—

地域に関わる活動をしたいと思い、移住後に知り合った方が主催するイベントに時々、お手伝いで参加しています。皆さんのおかげで栃木市へ移住してから本格的に始めたヨガインストラクターの仕事も少しずつ活動の場が広がっています。寺尾地区で活動している地域おこし協力隊の方と協力して、「テラオデヨガ」を開催しました。山々に囲まれ、川のせせらぎを聞くことができるロケーションで、大自然を感じながら、男女問わず幅広い年齢層の方と一緒にヨガを楽しむことができました。地域の方々との出会いがキッカケとなり、チャレンジできる場が広がっていることを実感しています。



知っていても利用を躊躇してしまう人もいるかもしれません。もっと栃木市内でのシェアスペースの利用が活発になれば良いな、と思っています。

### —栃木市のオススメポイントは?—

市内には着物をレンタルできる店があり、歴史ある街並みを着物で散策することができます。普段ではできない非日常を楽しむことができます。浅草や京都のように観光客や市民の方にも着物を着てもらい、着物の似合うまちになるといいなと思っています。

日常生活については、駅周辺なら車がなくても、スーパーや飲食店がたくさんあるので不自由なく暮らせています。現在は、仕事やプライベートで週2回ぐらい都内へ行っています。都内へのアクセスの良さも魅力ですね。

移住後に地域と関わりながら、自身の活動の幅を広げている中居さん。中居さんの人柄もあると思いますが、チャレンジしたいと思う方を後押しする文化が栃木市にはあると感じました。



## もっとシェアスペースを活用したい

### —栃木市のテレワーク環境はいかがですか?—

普段は現在住んでいる賃貸のアパートでテレワークをしていますが、正直、息が詰まることもあります。シェアスペースを利用してみたい気持ちはありますが、一人ではなかなか難しく。こちらの「KAEMON BASE」も落ち着いた雰囲気です。たまには外へ出て仕事がしたいけど、市内のシェアスペースの存在を知らない方や、

### 紹介

KAEMON BASE(嘉右衛門ベース)  
栃木市嘉右衛門町2-11

その他詳細は、Instagramをチェック➡



## 移住者インタビュー②

カフェ × 栃木市

独立して夫婦で  
栃木市にカフェを開店  
木戸間さんご夫婦



栃木市の代表的な風景が見られる幸来橋近くに2022年10月にオープンしたカフェ「HOULE coffee & icecream(ウル コーヒー&アイスクリーム)」。かわいいロゴで気軽に入れるお店でありながら、コーヒーの最高級であるスペシャルティコーヒーを取り扱っている本格派のコーヒーショップです。オーナーの木戸間さんご夫婦は、お店のオープンに合わせて2022年6月に埼玉県から栃木市へ移住。夫の海さんは、群馬県桐生市出身。東京の有名コーヒーショップで6年半ほど働き、当時の職場で偶然出会った琴弥さんと結婚。自分たちでお店を持ちたいと思うようになり、琴弥さんの地元である栃木市でお店をオープンすることになったそうです。「蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト2022」では、「コーヒーとアイスクリームで大人も子供も幸せになる店～三方良しでサスティナブルな世界をつくる～」を発表し、見事、優秀賞の「とちぎおいしいーとこフードバレー賞」を受賞。そんなお二人にこれまでの経緯や、これからの展望についてお話を伺いました。

## カフェが多い栃木市だから

—お店オープンの場所に「栃木市」を選んだ理由は?—

栃木市は、妻の地元でもあることから移住前からよく来ていました。観光地の要素と地域の方々の暮らしが結びついている街なので、お店をオープンする場所としても魅力を感じていました。既に多くのカフェがあることは知っていましたが、競合が多いことは刺激があり、街の活気にも繋がるので良いことだと思っています。市内で長年、カフェを夫婦で経営されている方にも「がんばって!」とあたたかい応援のお言葉をいただきました。ステキな先輩夫婦経営者が近くにいることも心強い環境だと思っています。現在の店舗は新築アパートの1階にあり、スケルトン物件であったため、妻のこだわりが詰まっています。カウンターのレンガ調の壁、打ちっぱなしのコンクリートの床、トイレの内装なども好みに合わせながら、お客様にも快適に過ごしていただくカフェになるようデザインしました。

## 地元のおいしい食材も提供

—実際にお店をオープンしてみているいかがですか?—

特に昨年2022年の秋は「とちぎ秋まつり」など大きなイベントもあり、多くのお客様にご来店いただきました。普段の日も幅広い年齢層の方にご来店いただいています。飲食以外でもここ数年でオープンされた店舗が近くに数店あり、先日は近くの美容院でパーマ中のお客様がコーヒーを飲みに来てくれました。この地域に暮らす皆さまにも来てほしいと思っていたのでほっこりしました。また、妻は、栃木市で保育士として働いていたこともあったので、当時の園児や保護者の方、地元の知人・友人も来てくれることも支えになっていますね。

お店ではコーヒーとアイスクリームの他にフードも提供しています。ホットドックは、小山市のおやまブランド豚「おとん」を使用した保存料・防腐剤・増量剤は使わず、一つひとつ手造りのソーセージを使用。カレーライスのお米は、市内の藤岡町新波地区にある、農薬・化学肥料を使わずに育てたNIPPA米を使用するなど、食材にもこだわっています。地元のおいしい食材を使用することで、地域の方々とも連携することができています。



## 交流の場となるサスティナブルなお店へ

—これから、どんなお店にしていきたいですか?—

私たちが扱うスペシャルティコーヒーは、「消費者だけでなく生産者にも利益をもたらすコーヒー」であることを目指しています。これからもサスティナブル(持続可能)な社会への貢献ができるお店でありたいと考えています。コロナ禍により、人と人との交流・コミュニケーションの重要性が再認識されましたが、交流できる場所が少なくなってしまうことは寂しく思います。幅広い世代の方々や、観光で栃木市へ訪れた方と地元の方の交流の場として利用していただけるお店を目指していきたいと考えています。

HOULE(ウル)は、フランス語で「うねり」。このお店から地域の交流が波紋のように広がり、うねりになって今よりもっと栃木市がおもしろくなっていくのではないのでしょうか。



### 紹介

HOULE coffee&icecream  
栃木市倭町2-19Y&M ラフィネス102  
オンラインショップでアイスクリームの販売もあり。  
その他詳細は、Instagramをチェック➡



# 豊かに暮らすための「地方移住」とは

地方へ移住することで、あなたの暮らしはどのように変化するでしょうか。「地方移住」は、不安なこともあるかもしれませんが、あなたの人生にとって大きなチャレンジにもなります。これからの暮らしを豊かにするために、自分と向き合い、「地方移住」という道も考えてみましょう。栃木市の移住定住支援コーディネーターとして活動し、今私が思う「地方移住」をまとめてみました。

## 住む場所を選択できる自由と葛藤

地方への移住を考えるようになったキッカケはさまざまあると思いますが、これから自分がどんな暮らしをしていくのかをイメージすることは、地方移住の準備を進める上での指針になります。

「理想の暮らし」というのは、人によって異なります。他の誰かが理想とする暮らしを参考にすることも良いのですが、実際に暮らすのはあなた自身。苦手な方もいるかもしれませんが、理想をカタチにしていくためには、これからやりたいことや、あなたが暮らす上での条件を、メモに書き出してみたり、誰かに話したり、情報をインプットする以上にアウトプットすることが大切になってきます。先輩移住者のインタビュー記事なども、あなた自身が理想とする暮らしをイメージできた状態で読み返すと新たな気づきがあるかもしれません。

もし、家族やパートナー、大切な人と一緒に地方移住を考えているのであれば尚更です。よく相談をしながら、これから豊かに暮らすための手段として地方移住を考えてみてください。住む場所を選択できる今だからこそ、「自分がこれから暮らすべき場所はどこのか？」を考えてみるのも良いかもしれません。私は結婚し、子どもが生まれたことでこれからの人生を考え、地元である栃木市へ移住することを決めました。

ぜひ、自分の人生と向き合う時間を作ってみてください。



## パラレルワークという働き方

私は現在、移住前から勤務している会社でシステムエンジニアとして働きながら、移住定住支援コーディネーターとしての活動もしているパラレルワーカーです。定年まで同じ会社で働き続けるという選択も素晴らしいことだと思いますが、たった1度の人生、キャリアチェンジをしたり、起業をしたりという選択もありますよね。しかし、会社を辞めて、いきなり新しいことを始めることはリスクの高いチャレンジになってしまいます。パラレルワークで働き方にグラデーションを付けて、理想に近づけていく方法も私は良いと思います。時間の管理など大変な部分もありますが、自分の住む地域に関わる仕事をするすることで、自分自身の暮らしを豊かにすることができます。地方移住は働き方とセットで考えてみましょう。



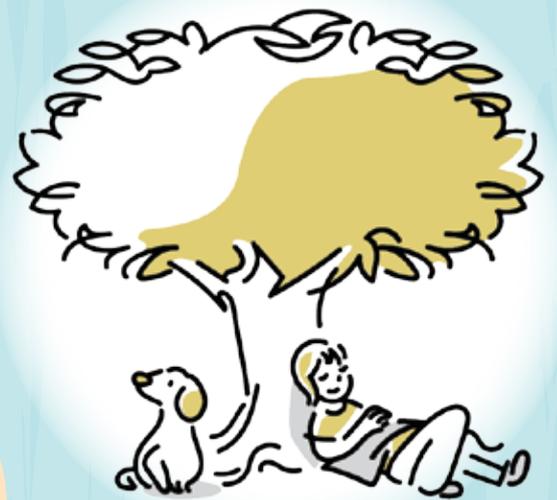
## 栃木市はポテンシャルが高い？

私の住む栃木市は、東京から電車でも車でも約1時間の場所にあり、東京への通勤も可能です。実際に私も移住後1年弱は平日ほぼ毎日東京へ電車通勤していました。東京へも気軽に行ける距離にありながら、風情ある街並みと、のどかな田園風景を残す栃木市は、今の仕事を続けながら新たなチャレンジをしたい方にとって、ポテンシャルの高い移住先だと私は思っています。

栃木市への移住はもちろん、どこか地方へ移住したいと思った時は、お気軽にご連絡ください。あなたやあなたの家族が豊かに暮らすための地方移住を一緒に考えてみませんか？

栃木市移住定住支援コーディネーター  
青山 直人

栃木県栃木市(旧岩舟町)出身。妻と子ども2人の4人家族。2019年7月に埼玉県草加市から栃木市へUターン。テレワークでシステムエンジニアとして勤務をしながら、2021年4月からは栃木市移住定住支援コーディネーターとして、移住相談窓口の開設や、移住促進イベントの企画・実施などを行っている。



# 移住先で輝く移住者たち

## イベントレポート

栃木市に移住し、栃木市で活躍されている魅力ある移住者をゲストとしてお迎えし、移住の経緯、栃木市での働き方や暮らしなどをテーマにお話を伺うトークイベントを3回実施しました。「移住先で輝く移住者たち」としてシリーズ化し、地方移住を検討している方が栃木市に興味を持っていただくキッカケとなるよう今後も企画していきます。



### 第1回



2019年5月に栃木市へUターン移住し、栃木県唯一の伝統的建造物群保存地区(伝建地区)である嘉右衛門町にてギフトショップ「onze」(オンズ)を経営している齊藤絵美さんと、茂木町出身で2021年6月に栃木市地域おこし協力隊として、寺尾地区を拠点に活動中の國府谷純輝さんをゲストに迎え、店舗経営に関わる話や地域おこし協力隊の活動についてトークセッションしました。

アーカイブ動画はこちら→



## 第2回



栃木市魅力発信特使であり東京とパリでの生活を経て、現在は市内で暮らすフルート奏者の高橋由起さんをゲストに迎え、移住の経緯や現在の活動について話をしてもらいました。また、栃木市周辺の地域情報サイト「ふらっとろーかる」の担当者にも参加いただき、市内イベント情報の収集方法を教えていただきました。トークイベント後には、高橋さんによるフルートのミニコンサートも実施しました。(ミニコンサートはアーカイブ動画に含まれていませんのでご了承ください。)

アーカイブ動画はこちら→



## 第3回



山形県山形市出身で結婚を機に栃木市へ移住したわくわく宅建株式会社の和久井賢司さんをゲストに迎え、移住の経緯や不動産のプロとして、不動産取得についての情報や、家・土地の探し方を、栃木市の事例を挙げていただきながら話していただきました。

アーカイブ動画はこちら→



# 栃木市移住の Q & A

よくある/

これまでの移住相談で相談者様へご案内した内容です。  
移住準備のぜひ参考にしてみてください。



## 窓 □

**Q** オンラインでの移住相談も可能ですか？

**A** はい、可能です。  
公式LINEもありますので、友だち登録をお願いします。チャットでの相談も受け付けておりますので、まずは気軽にチャットでお問合せいただき、状況に応じてオンライン会議システムを使ったオンライン相談や現地での相談など柔軟に対応させていただきます。



移住定住支援コーディネーター  
公式LINEアカウント

### POINT

事前の情報収集、準備のために栃木市移住定住支援コーディネーターをフル活用しよう！

## 住まい

**Q** 空き家の情報はありますか？

**A** 栃木市空き家バンク「あったか住まいるバンク」をご覧ください。  
メルマガに登録すると、新着物件の情報がメールで届きます。物件の見学についてはホームページから事前に利用登録申請が必要となります。



栃木市空き家バンク  
あったか住まいるバンク

### POINT

栃木市は空き家バンクの成約物件数が全国トップクラス！リフォームの補助金も活用できます。

## 子育て

**Q** 育児・子育ての情報はありますか？

**A** 市ホームページで最新情報を掲載しています。市内の施設や遊び場は動画でも紹介しています。また、子育てガイドブックの電子書籍版も閲覧することができます。



栃木市HP 子育て・教育

**POINT**

栃木市公式YouTubeチャンネルでも子育て情報が配信されています。

## 地域の情報

**Q** どのように栃木市の情報を知ればいいのか？

**A** まずは自分の興味・関心に合わせて栃木市に関連するSNSアカウントをフォローして情報を集めましょう。



栃木市のソーシャルメディア (SNS) 一覧

**POINT**

SNSを活用して栃木市の情報に触れる機会を増やそう。スマホアプリでどこからでも聴ける栃木市のコミュニティFMラジオ「FMくらら857」もオススメ!

## しごと

**Q** コワーキングスペースやシェアオフィスは市内にありますか？

**A** 市内中心部にいくつかあります。トチギもくもく会というテレワーカー向けのコミュニティがありますので、まずは公式LINEの友だち登録をお願いします。



トチギもくもく会公式LINEアカウント

**POINT**

移住定住支援コーディネーターが運営する「トチギもくもく会」へ参加しよう!

## 移住体験

**Q** 朝晩の気温差や、夜の様子など、実際に暮らしてみないと不安なのですが・・・

**A** 栃木市には移住体験施設が2つあります。

**POINT**

移住体験施設で実際の暮らしを体験しよう。

詳細は次のページ



試してみませんか?

# 栃木市の移住体験施設

栃木市では、移住後の具体的な生活がイメージできるように、最長で1か月間、実際に暮らすことができる宿泊施設を2棟ご用意しています。タイプの異なる両施設では、いずれも栃木市の魅力や歴史・文化を肌で感じることができます。

## 「蔵の街やどかりの家」

かつての栃木県庁舎を囲んでいた水辺に佇む「蔵の街やどかりの家」は、昭和25年に建てられ随所にこだわりの意匠が施された趣ある古民家です。畳と浴室をリフォーム済みですので、古民家の魅力そのままに快適にお過ごしいただけます。街中にあるため気軽な蔵の街散策をお楽しみください。

**場 所** 栃木県栃木市入舟町14-17  
**間取り** 3LDK ※敷地内に駐車スペースあり(1台)



## 利用者の声



とても快適で静か。居心地がよくて日頃の疲れも癒されました。



スーパーや商店も近く、何不自由なく過ごせました。



落ち着いていて温もりを感じさせる素敵な街でした。



一通りの家具家電が揃っているだけでなく、お風呂等の水回りも清潔で、とても気持ちよく利用できました。

## 移住体験施設ご利用案内

- 期間** 1泊～1か月  
**利用料** 1泊2千円・1か月3万円（光熱水費込）  
**利用方法** 専用HPメールフォーム・電話から申込み  
**設備・備品** バス、トイレ、キッチン、TV、エアコン、冷蔵庫、炊飯器、食器、オーブンレンジ、調理器具、掃除機、洗濯機、ドライヤー、Wi-Fi、自転車  
**周辺情報** 市役所、スーパー、百貨店、金融機関から徒歩5分。栃木駅から徒歩15分。

両施設ともテレワーク用  
デスクを完備



専用HPは  
こちら

栃木市 移住体験



## 「IJUテラス蔵人館」

江戸時代創業の下駄問屋であった見世蔵と土蔵が、蔵の外観と現代的な居住空間を兼ね備える店舗併設型の施設に生まれ変わりました。市内中心部の大通りに面しており、蔵の街の今を余すことなく体験できます。市内外から訪れるたくさんの方々との交流もお楽しみください。

**場所** 栃木県栃木市万町4-1

**間取り** 1LDK ※駐車場は市役所駐車場を使用（徒歩5分）



テレワーク用のデスクも設置

### 編集後記

KaKeRuを発行するにあたり、たくさんのご支援・ご協力をいただきました。この活動を通して地域の魅力は、暮らす人たちが創っていくものだ実感しました。KaKeRuをキッカケにして、一人でも多くの方に栃木市の魅力を知っていただきたいです。

栃木市移住定住支援コーディネーター 青山 直人

### 紹介

栃木市では、オンラインでの移住相談も受け付けています。まずはLINEでのチャット相談が気軽に便利です。Instagramでの栃木市に関する情報発信もしておりますのでぜひチェックしてみてください。



# 交通のご案内

## アクセス



栃木市



## 車をご利用の方

●東北自動車道 (川口JCTから栃木I.C.まで約45分)

川口JCT → 東北道 約35分 → 佐野藤岡I.C. → 東北道 約10分 → 栃木I.C.

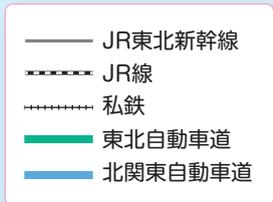
郡山I.C. → 東北道 約90分 → 栃木I.C.

●北関東自動車道 (友部JCTから栃木I.C.まで約40分)

高崎JCT → 北関東道 約50分 → 栃木I.C.

友部JCT → 北関東道 約35分 → 都賀I.C. → 北関東道 約5分 → 栃木I.C.

栃木I.C.



## 電車をご利用の方

●東武鉄道 (特急スペーシア (きぬ・けごん) / 特急リパティ) (浅草駅から約65分)

浅草 → 日光線 特急 約10分 → 北千住 → 日光線 特急 約20分 → 春日部 → 日光線 特急 約35分 → 栃木

東武日光 → 区間 約60分 → 栃木  
 鬼怒川温泉 → 区間 約70分 → 栃木  
 会津高原尾瀬口 → 特・普 約120分 → 栃木  
 東武宇都宮 → 普通 約30分 → 栃木

●JR東日本 (東京駅から約55分)

郡山 → 東北新幹線 約30分 → 宇都宮 → 東北新幹線 約10分 → 小山 → 両毛線 約10分 → 栃木  
 東京 → 東北新幹線 約45分 → 小山 → 両毛線 約10分 → 栃木  
 上野 → 宇都宮線・快速 約65分 → 栃木  
 高崎 → 両毛線・普通 約90分 → 栃木

●JR・東武直通 (JR特急きぬがわ・日光・スペーシア) (新宿駅から約70分)

新宿 → 約10分 → 池袋 → 約20分 → 大宮 → 約45分 → 栃木

東武日光線 約60分 → 栃木



栃木市マスコットキャラクター とち介

お問い合わせ 栃木市 地域政策課 地域政策係 移住定住支援センター

〒328-8686 栃木市万町9-25

☎ 0282-21-2453

FAX: 0282-21-2685

メールアドレス: seisaku@city.tochigi.lg.jp

ホームページ: www.city.tochigi.lg.jp

詳しくはこちら↓



とちぎで暮らす

栃木市移住・定住支援情報

